ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.									

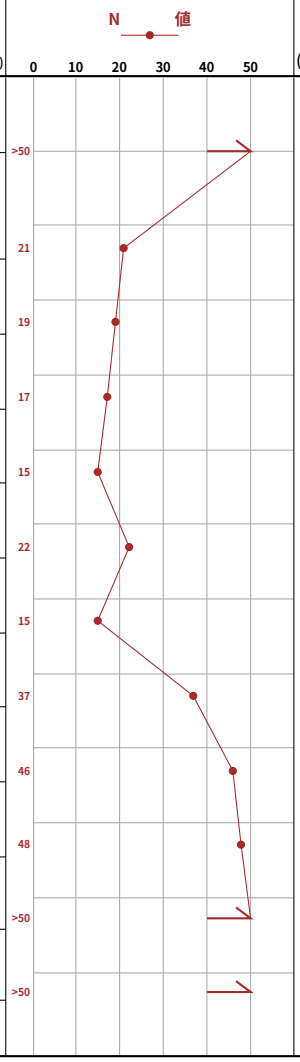
シートNO.

ボーリング名	NO.B-2(左岸)	調査位置						北　緯	36 ° 53 ' 28.0000 "
発注機関	栃木県大田原土木事務所河川砂防部			調査期間	2008-07-22 ～ 2008-09-19			東　経	140 ° 01 ' 40.0000 "
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	224.99 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 .00 °	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 45.00 °	使用機種	
総掘進長	12.37 m							試錐機	ハンマー落下用具
								エンジン	ポンプ

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
1	223.49	1.50	1.50		埋土 (FI)	暗褐			0.25m迄、礫径10から70mm主体。 0.25mから擁壁裏込め材。コンクリート質砂礫。コア長5から10cm多い。		
2 3 4 5 6	218.24	5.25	6.75		砂礫 (GS)	暗褐灰	中ぐらい		礫径10から50mm主体。 礫種は円・亜円礫主体。 間隙は粗粒砂充填。 含水比は下位から中位。 3.35mより含水比は高位となる。 漏水、崩壊激しい。 5.50mより礫径2から50mmの礫主体となる。 コア長50mm程度の玉石点在する。		07/23 3.37
7	217.09	1.15	7.90		粘土質砂礫 (GSC)	暗褐	中ぐらい		礫径2から30mmの円、亜円礫主体 含水比は下位となり、礫間粘土分多く混じる。 風化礫混じる。		
8 9 10 11 12	212.62	4.47	12.37		粘土混り砂礫 (GS-C)	暗褐	密な 非常に密な		礫径2から50mmの円、亜円礫主体 礫間粘土、粗砂、風化礫にて充填 含水比は下位から中位。 コア長50から100mm程度の玉石所々混じる。 9.00mより固結状となり締まる。		

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0-10	10-20	20-30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.00	50/2			50/2	>50
1.02					
2.15	8	7	6	21/30	21
2.45					
3.15	6	7	6	19/30	19
3.45					
4.15	5	5	7	17/30	17
4.45					
5.15	4	5	6	15/30	15
5.45					
6.15	7	7	8	22/30	22
6.45					
7.15	5	4	6	15/30	15
7.45					
8.15	10	14	13	37/30	37
8.45					
9.15	12	20	14	46/30	46
9.45					
10.15	14	18	16	48/30	48
10.45					
11.15	19	17	14/8	50/28	>50
11.43					
12.15	15	28	7/2	50/22	>50
12.37					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
		3.50	2-1	⊖	粒度	07/22
		4.00				
		5.50	2-2	⊖	粒度	
		6.00				
		6.75	2-3	⊖	粒度	
		7.00				
		8.50	2-4	⊖	粒度	07/23
		9.00				
						07/24